

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	スケートのまちづくり事業	コード	113410
-------	--------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スケートのまちづくり事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	アイスアリーナ等のスケート施設を活用し、多くの市民にスケートに触れ、体験してもらうため、スケート教室、ファミリースケートデー等を実施する。			
目的	対象者	市民		
	意 図	市民スポーツの振興を図る		

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>下記の大会等の開催や支援を行った。</p> <p>【大会】13大会 1,291名 ≪スピードスケート≫5大会 598名 やまびこカップスピードスケート競技会（12/1、244名）、長野県ジュニアスピードスケート競技会（12/21、209名）、国民体育大会スケート競技会長野県予選会（12/22、75名）、岡谷市民スケート大会（1/13、38名）、三笠宮賜杯中部日本スケート競技大会（2/15、32名） ≪ショートトラック≫2大会 84名 長野県チャレンジカップショートトラックスピードスケート選手権やまびこ大会（10/5、84名）、長野県ジュニアショートトラックスピードスケート選手権岡谷大会 兼 長野県ショートトラックスピードスケート選手権大会岡谷大会（2/29、中止（コロナ）） ≪フィギュア≫1大会 9名 国民体育大会フィギュアスケート競技会長野県予選会 兼 長野県高等学校総体フィギュア競技会（11/10、9名） ≪アイスホッケー≫2大会 400名 岡谷市長杯争奪長野県ジュニアアイスホッケー大会（10/19・60名）、J-アイスセントラル（11/23～24、340名） ≪パラアイスホッケー≫1大会 70名 2019国内クラブチーム選手権大会（12/7～8 70名） ≪カーリング≫2大会 130名 やまびこカップカーリング選手権大会（6/16～17、130名） 岡谷市民カーリング大会（3/1、中止）</p> <p>【教室】6教室 1,138名 初心者スケート教室（10月～11月、65名）、アイスホッケー教室（12月、33名）、カーリング教室（12月～2月、22名）、おかやスピードスケートトータルサポートクラブ 初心者～上級者（7月～2月、509名）、おかやスピードスケートトータルサポートクラブ アスリートコース（6月～2月、474名）、親子で氷上運動会（11/2、35名） 【ファミリースケートデー】7回 1,344名 アイスアリーナ（11月～2月、4回、373名）、やまびこ国際スケートセンター（12月～2月、3回、971名）</p>				
前年度の課題への対応	スケート競技者の増加を図るため、岡谷市体育協会及び岡谷市スケート協会、やまびこスケートの森等と連携し、スケート教室等きっかけづくり事業を実施した。			

6 指標の達成状況

* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 活動指標(指標名)	大会等開催数			単位 大会
実績値	22	26	26	
* 指標の説明				
② 成果指標(指標名)	大会等参加者数			単位 人
目標値	4,598	4,648	4,648	
実績値	3,723	4,001	3,773	
達成度	81.0%	86.1%	81.2%	
* 指標の説明	大会・教室・ファミリースケートデーの参加者数			
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	3,692,496	3,597,120	3,684,180	0
経常経費	3,692,496	3,597,120	3,684,180	
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	3,600,000	2,800,000	2,800,000	0
正規職員の人数(人)	0.45	0.35	0.35	
③ 合計コスト(①+②)	7,292,496	6,397,120	6,484,180	0
前年度比		87.7%	101.4%	0.0%
財源内訳	7,097,396	6,220,120	6,301,480	0
一般財源				
特定財源	195,100	177,000	182,700	
* 特定財源の説明	スケート教室受講料			
④ 活動一単位あたりコスト	331,477	246,043	249,392	
前年度比		74.2%	101.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1			
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1			
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1			
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1			
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1			

9 有効性評価		*有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。		有効性	標準
評価項目		はい	いいえ		
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1			
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1			
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	94.3%	0
⑤	年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	81.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>スケート人口等の底辺拡大を図るとともに、競技人口の拡大及び競技力の向上が課題である。</p>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケートを始めるきっかけづくりとして、スピードスケート教室とフィギュア教室を一本化した初心者スケート教室の実施により、競技人口の増加を図る。 ・スケート競技者の増加を図るため、岡谷市スポーツ協会及び岡谷市スケート協会、やまびこスケートの森等と連携し、スケート教室等きっかけづくり事業を推進する。
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	2年度より他の事務事業と統合	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	統合
-----------	----------------	--	----